

講義名	特別支援教育【教職科目】				授業形態	
担当教員	石上 浩美	開講期・曜日・時限		後期集中 日曜日 その他		
		単位数	1	履修開始年次	2 年生	ナンバリング・コード
主題と概要						
特別支援教育とは、「障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために適切な指導及び必要な支援を行う（文部科学省）」ものである。 対象となる子どもは、特別支援学校・学校在籍者だけではなく、通級指導や通常の学校をも含めると、就学児童・生徒の8%～10%程度存在している。 また、障がい診断はないものの、いわゆる「気になる子ども」についても理解し、インクルージブな観点から学級経営・指導と合理的配慮に基づいた支援が求められている。 そこで、この講義では協同学習の理念と手法に基づいた、話し合い学修活動（LTD：Learning Through Discussion）を通して、具体的な解決方法を探究する。 このようなICT手法にも興味・関心を持ち積極的に参加することを期待している。						
到達目標						
1）特別支援教育に関する基礎的な用語を理解することができる 2）人権課題や教育時事的な問題に対して興味・関心を持つことができる 3）講義内容に関する予習・復習が習慣化できる 4）講義時の質疑応答や話し合い学修活動（LTD：Learning Through Discussion）に参加できる 5）障がい児・者に対する合理的配慮の必要性について理解し実践に活用することができる 6）「気になる子ども」をはじめとした合理的配慮を必要とするすべての児童及び生徒に対する指導方法について理解し実践に活用することができる。						
提出課題						
・中間課題レポート（第4回終了時） ・総括課題レポート（第8回終了時）						
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法						
・中間課題および総括レポート内容について全体フィードバックを行う。						
評価の基準						
・到達目標率拠評価（絶対評価） ・中間課題レポート（第4回終了時）記述内容：50点 ・総括課題レポート（第8回終了時）記述内容：50点 ・合計100点満点 100～90点：A ○（A 丸） 89～80点：A 79～70点：B 69～60点：C 59点以下：D						
履修にあたっての注意・助言他						
・文部科学省の指導により、単位認定のためには全講義日数の1/3以上の出席が最低条件である。 ・集中講義であるため、課題提出により出席扱いとする。 ・遠隔授業ツール（Microsoft Teams やZoomなど）を用いた話し合い学修活動に、積極的に参加することが望ましい。						
教科書						
実践事例を通して具体的ななかかわりを学ぶ 保育現場における特別支援		松井剛太，七木田敦編著		教育情報出版	2200	9784909378491
参考図書						
未来へつなぐ教育心理学―多文化共生社会を生きる子どもを育むために		石上浩美		峴峨野書院	2300	9784782306
特別支援学校幼稚園教育部教育要領 小学部・中学部学習指導要領―平成29年4月告示		文部科学省		海文堂出版	484	9784303124243

その他	
・ 参考図書は多数あるため、講義中に随時紹介する。	
・ 文部科学省：https://www.mext.go.jp/a_menu/01_m.htm	
授業計画	
1. イントロダクション 特別教育から特別支援教育への歴史的転換 予習内容：指定された教科書ページ全体を通読（60分） 復習内容：講義内容の確認理解のためのノート整理（180分）	
2. 特別支援教育の理念と合理的配慮（インクルージブ教育の観点から） 予習内容：前回講義終了時に指定された教科書ページを精読（60分） 復習内容：講義内容の確認理解のためのノート整理（180分）	
3. 特別支援教育の現状と課題（特別的教育的ニーズのある児童・生徒への指導を含む） 予習内容：前回講義終了時に指定された教科書ページを精読（60分） 復習内容：講義内容の確認理解のためのノート整理（180分）	
4. 障がい特性についての理解（視覚・聴覚・肢体不自由・病弱など） 予習内容：前回講義終了時に指定された教科書ページを精読（60分） 復習内容：講義内容の確認理解のためのノート整理（180分）	
5. 障がい特性についての理解（知的障害・自閉症スペクトラム・発達障害など） 予習内容：前回講義終了時に指定された教科書ページを精読（60分） 復習内容：講義内容の確認理解のためのノート整理（180分）	
6. 特別支援学校小学部・中学部における指導の実際（個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成、実践事例観察による話し合い活動：LTD） 予習内容：前回講義終了時に指定された教科書ページを精読（60分） 復習内容：講義内容の確認理解のためのノート整理（180分）	
7. 通級による指導、および通常の学級における特別的教育的ニーズのある児童・生徒を対象とした指導の実際（実践事例観察による話し合い活動：LTD） 予習内容：前回講義終了時に指定された教科書ページを精読（60分） 復習内容：講義内容の確認理解のためのノート整理（180分）	
8. 特別支援教育と就労支援、人権保障、特別支援教育第1回から第8回まとめ、到達度確認テスト 予習内容：前回講義終了時に指定された教科書ページを精読（60分） 復習内容：講義内容の確認理解のためのノート整理（180分）	
授業形態（アクティブ・ラーニング）	
○ ア：PBL（課題解決型学習）	○ イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
○ ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
○ オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	
・ 本学ディプロマポリシーに準拠する。	
・ 教員免許状取得および認定心理士資格取得関連科目である。	
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
リユカポータルでの活用（連絡事項・講義資料）	
実務経験の有無及び活用	
備考	
・ 教育時事や子ども・青少年をとりまく社会的環境についての興味・関心を持ち、積極的な参加姿勢を歓迎する。	
・ 授業時間外の質問などは Hironi_Ishigani@red.unds.ac.jpにて対応する。	